

花き市場との意見交換により
販売情勢とニーズを学ぶ

JA種子屋久花き振興会は11月28日、JA本所で花き研修会を開きました。

研修会には生産者や出荷先市場、県経済連など約50人が出席。意見交換や情勢報告を通じて、コロナ禍における花きの消費動向の変化や出荷数量の減少など花きを取り巻く情勢について学びました。

レーザーリフファン日本一の産地として、出荷先市場からは生産振興に多くの期待の声が寄せられました。



令和4年産ブロッコリー
中種子野菜集荷所で出発式

種子島地区において12月上旬、種子島ブロッコリーの出荷が始まりました。

JA中種子野菜集荷所では12月8日に出発式が行われ、生産者代表や行政、出荷先、JA役員などの関係者ら約30人が出席し、ブロッコリーの出発を祝いました。

今期は85畝で栽培し生産量は595トを見込みます。



JA管内の優秀雌牛を表彰
県内63頭中4頭が基準に該当

JA家畜市場で12月9日、優秀雌牛表彰が行われました。「同一家族が5年以上飼育」「6産以上し、かつその分娩間隔が365日以内」「当該牛の産子中に82点以上が1頭以上」など8つの基準を満たした雌牛が表彰されます。

管内からは、西之表市の落合勝昭さん、中種子町の山口次芳さんと鳥居勝幸さん、南種子町の小脇牧場さんの雌牛が表彰されました。



左から落合さん、鳥居さん、岩組合長、山口さん、小脇牧場さん

中種子町へ黒毛和牛を贈呈
学校給食の献立に活用

中種子地区の和牛振興会など複数の畜産関係団体が12月9日、子供たちに日本一に輝いた鹿児島黒牛を味わってほしいと中種子町教育委員会へ黒毛和牛の牛肉を贈呈しました。

牛肉は中種子町学校給食センターで調理され、9日にすき焼き風煮、22日にサイコロステーキが町内の小・中学校、養護学校の学校給食として提供されました。

